

従軍慰安婦って、な～に？



昭和になって中国大陸で戦争を始めるようになった。強姦(レイプ)事件がたくさん起こった。性病の蔓延も大きな問題だったわ。それらを防止するため、軍部が作ったの。



証拠はあるの？

「野戦酒保規程改正説明書」(1937年9月15日付)ってのがあるわ。酒保(しゅほ)って軍のコンビニね。「野戦酒保に於ては前項の外必要なる慰安施設をなすことを得」という行を追加して慰安所を設置できるようにしたの。盧溝橋(ろこうきょう)事件の直後ね。



コンビニで売春施設！ ゲゲッ ありえない・・・

建物は別よ。翌38年正月、「軍の名を騙った人身売買めいた勧誘をしているあやしげな男」が3人、和歌山県田辺警察に逮捕されるっていう事件があったわ。彼らは軍から3000人手配するよう要請されている、と言ってたんだけど、警察は頭からこれを信じない。でも問い合わせてみると本当だということが分かったわ。分かった後も警察は頭を抱えていた。なぜって、それは彼らの常識にどうしても反することだったから。



売春、じゃなくてえ、公娼(こうしょう)は許されてたんじゃないの？



国内では黙認ね。(1900年「身体を拘束することを目的とする契約は無効」であるとの大審院判決はあったんだけど)でも海外については、1920年にはもう、からゆきさん(東南アジアなどで売春する女性)は禁止されていたの。だからそんな勧誘、ちょっと！警察へ来い！、って言うわけ。



でも軍の依頼というのは嘘じゃなかった、ってこと？

そうなの。その後、慰安所は軍によってどんどんひろがったわ、中国の奥地、東南アジアから南太平洋まで。日本人・朝鮮人・台湾人・中国人・フィリピン人・インドネシア人・ベトナム人・マレー人・タイ人・ビルマ人・インド人・ティモール人・チャモロ人・オランダ人・ユーラシアン(白人とアジア人の混血)などの若い女性たちが犠牲になったわ。



韓国人だけかと思っていた。

全く違うのよ。しかも東南アジアの人は韓国・朝鮮人の場合よりずっと非道い目に会った話も多いわ。



うーん。ひどいひどいと言われてもイメージがわからない・・・



水木しげるさんの文章を紹介するわね。

「ピー屋というのは女郎屋のことである。…ピー屋の前に行ったが、何とゾロゾロと大勢並んでいる。日本のピーの前には百人くらい、ナワピー(沖縄出身)は九十人くらい、朝鮮ピーは八十人くらいだった。これを一人の女性で処理するのだ。僕はその長い行列を見て、一体いつできるのだろうと思った。一人



三十分としてもとても今日中にできるとは思われぬ、軽く一週間くらいかかるはずだ。しかし兵隊はこの世の最期だろうと思って、はなれない・・・」



なにそれ・・・。セックスじゃないじゃない・・・もうイヤダ、ヤメテ！



話を聞くぐらい我慢しなさい。「第一これから八十人くらいの兵隊をさばかねばならぬ。兵隊は精力ゼツリンだから大変なことだ。それはまさに「地獄の場所」だった。兵隊だって地獄に行くわけだが、それ以上に地獄ではないか。と、トイレに行った朝鮮ピーを見て思った。よく従軍慰安婦のバイショウのことが新聞に出たりしているが、あれは体験のない人にはわからないだろうが・・・やはり「地獄」だったと思う。だからバイショウはすべきだろうナ。」(『本日の水木さん』より)



で、どうすれば良いの。



日本は21年前に『河野談話』という政府声明を出して、公式に謝罪したわ。



わたし生まれてないw



嘘。韓国人慰安婦の多くはその時の条件(国家からの賠償ではなくアジア平和国民基金からの「償い金」)を不満として受け取らなかった。



なぜ今問題になっているの？



吉田清治という元日本軍属の人の証言に信用性がない、と反対派(いわゆるネトウヨ)は何十年も前から言っているの。でもそうだとっても、慰安婦問題という大きな問題と当時の日本政府の責任という問題は揺るがないのよ。無理筋の話をがなり立ててる人が多いだけ。

従軍慰安婦(つづき)



ねえねえ、これじいちゃんの日記なんだけど。



(ええ～、じいちゃん～って聞いたことないよ。) どれどれ。

・・・ 筑紫峠も、辰平は忘れることができず、フーコンという言葉
を聞けば思い出すのであった。サモウの野戦病院というのか、患者収容所
というのか、あれもひどいものであった。患者が多くて、とてもあの瀬降
り病棟に全部を収容しきれず、土の上に、何人もの患者が横たわってい
た。雨が降ると、そこでそのまま打たれて、ずぶ濡れに濡れていた。その
ような患者が次々に死んだ。死体は、共同の死体壕に投げ込まれた。死体
壕に雨水が流入してできたプールに、沈んでいる死者もあり、浮かんでい
る死者もいた。禿鷲が降下して死者の肉を爪にかけて、飛び去っ
た。・・・



昨日読んでから、すごく陰惨なこのイメージに取り付かれちゃっ
て・・・ だいたいフーコンとかいったいぜんたい、何処なのかも知らな
いのに！



(しばらくインターネットで調べている) アジア太平洋戦争が始まっ
てわりとすぐ、日本軍はビルマ全域を制圧したの。でも、北部のフーコン
谷地を突っ切って中国に軍需物資を送るための道路を作るため、1943
年から英米は強力に攻めてきて、日本軍は負けてしまった。雨の多い地域
だったのね。病院とは名ばかり。



ふーん、続き読んで。



・・・ あの死体壕に投下されるまで、死者は泥土に顔を突っ込んで
いた。あるいは、仰向けになって、眼と口をあけていた。・・・



・・・ あれは確かにあったことであり、実際に見たことなのだ。辰
平にはしかし、幻のようにも思えるのであった。あんなに多くの人が、あ
んな姿で死んでいる光景を、俺は本当に見たのか。もしかしたら、幻想で
はないのか。そんな気がするのである。死者の光景だけではない。あの戦
場のすべてが夢の中の光景のように思えるのであった。・・・



ん、本当に日記なの？



へへ、嘘でした。じいちゃんがこの本を読んでたんだ、古山高麗
雄『フーコン戦記』。



慰安婦のことも載ってるよ。・・・ 日本兵の死体の写真。日本
兵の死体にはハエがたかり、腐臭を発しているの、中国兵が布で鼻
を押えて、死体の傍を歩いている。…ミイトキーナ、モウガンあたり
に来ていた慰安婦であろう。… 表紙に使っている写真の慰安婦
は、…疲れ果て、顔をしかめている女が四人いて、その横で、銃を立て、
腰を落とした中国兵がにこやかに笑っている。・・・

あっ！、その写真知っている。[裏に使った写真]



この女の人も死体の奥から出てきたのかしら。



たぶん、そうね。で、それを見て米兵はびっくりした。「お前ら
は一体なにものだ？」と聞いた。で「comfort women」で答えたわ
けね。でも、それを聞いてもなお、米兵には意味が分からなかった。
たぶんそんな英語はポピュラーじゃないのね。もともと「慰安婦」っ
て言葉が、実態を隠すために無理して作った単語だから。



玉砕するような戦場によく慰安婦なんか連れて行ったわね！



危険になるまでに下がらせるべきでしょうね。そういう発想がで
きないほど自分の所有物だという感覚が強かったんでしょうね。洗濯
や料理掃除など雑用もどんどんやらされたわ。



言葉は悪いけどやっぱり「奴隷」ね。



そうね。「シンガポールの後方基地勤務で基地内の世話をしたり
病院の手伝いをする」って言われて応募したらしいわ。それがビルマ
のランゲンからビルマの北の果てまで送られてしまった。もちろん
了解なんかしてないのに。



給料はあったの。



給料は全く支給されなかった、とこのランドル記者の記事にはあ
るわ。(戦時中アジア戦域の米軍新聞「ラウンドアップ」1944年11
月30日付記事「日本の慰安婦」)

とにかく、70年以上も前のことを戦後の人が嘘ついた言って否
定しようとしても無理ってこと！